

昆虫由来素材の用途開拓

たんぱく質粉末と抽出オイル 飼料などに

昭和興産

昭和興産は、昆虫ビジネスで用途展開を促進する。イスラエルのFlying Spark(フライングスパーク)が製造するフルーツフライ幼虫を原料とするたんぱく質粉末と抽出オイルについて、水産飼料分野での実証実験が進行中で、ペットフード分野も爬虫類用フードとして商機が見込まれるため、今後の具体化に向けた取り組みに注力する。化粧品分野についても協業先との連携により実用化を目指す。

フライングスパークは、産効率の最適化に向けたイスラエルのベンチャー企業。ツナ缶最大手メーカーのタイ・ユニオンの出資を受けてタイのベツチャプリー県で建設を進めてきたフルーツフライ幼虫の養殖・加工工場は2023年10月に竣工し、年間36万トンの設備でたんぱく質粉末の生産を開始している。生産は安定した状況にあり、現在生

産効率の最適化に向けた取り組みに着手、将来的には量産設備の建設も視野に入れている。昭和興産は幼虫養殖向けの資材の供給を通じて生産コストの効率化に向けた提案を行っている。

昭和興産はフルーツフライ幼虫のたんぱく質粉末と抽出オイルについて、2020年から水産飼料、食品、ペットフード、ウナギの試食会を開

催しており、来場者から「臭みが少ない」「脂乗りが良い」などの評価を得た。今後は食味や抗病的性などの副次的な効果を検証していく予定で、他の魚種への給餌も検討する。

ペットフード分野では爬虫類用フードに普及し展開を進める。これまでも昆虫が主食として使用されており受け入れやすい土壌があるため、

今後は趣向性の検証を加速する一方、コスト削減が可能なメリットを訴求し早期の実績化を狙う。また、ドッグフードおよびキャットフード用途については、消費者の持つイメージを払拭するよう効果・効能の検証が必要と判断しており、今後その対応を図る。

化粧品分野ではオイルの加工が課題となるなか、協業先と連携し実績化に向けた活動を推進していく。委託加工先の探索や他用途の開拓も進める考えだ。



フライングスパークの設備(上)。フルーツフライ配合飼料を与えて育てたニジマス、ウナギは試食会で好評だった